【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年12月8日(2023.12.8)

【公開番号】特開2023-144068(P2023-144068A)
【公開日】令和5年10月6日(2023.10.6)
【年通号数】公開公報(特許)2023-189
【出願番号】特願2023-132706(P2023-132706)
【国際特許分類】
*Ｆ２１Ｖ　7/28(2018.01)*
*Ｆ２１Ｓ　2/00(2016.01)*
*Ｆ２１Ｙ115/10(2016.01)*
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｖ　7/28　２４０
Ｆ２１Ｓ　2/00　１００
Ｆ２１Ｙ115:10

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月30日(2023.11.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
互いに波長域が異なる光を発し、かつ、互いに異なる位置に配置された複数の光源と、
前記複数の光源のうちの一の光源から発せられた光を起源とする第１の入射光と前記一の光源とは異なる他の光源から発せられた光を起源とする第２の入射光とを合成する少なくとも１つのダイクロイックミラーであって、前記第１の入射光と前記第２の入射光とが合成される照明光生成合成点を有し、前記照明光生成合成点で合成された光を、対象物を照明する照明光として出射する照明光ダイクロイックミラーを含む、少なくとも１つのダイクロイックミラーと、
前記複数の光源の点灯又は消灯を少なくとも１つのトリガー信号に基づいて制御する制御部と、を備え、
前記複数の光源の各々から前記照明光生成合成点までの光路の長さが同じである光源装置。
【請求項２】
前記少なくとも１つのトリガー信号は、前記複数の光源のうちの少なくとも１つの光源を指定して点灯又は消灯する、請求項１に記載の光源装置。
【請求項３】
前記少なくとも１つのトリガー信号は、前記複数の光源のうちの一の光源を指定する、請求項２に記載の光源装置。
【請求項４】
前記制御部は、前記少なくとも１つのトリガー信号によって、前記複数の光源の少なくとも１つの光源を前記一の光源から所定の順序で順次に点灯又は消灯させる、請求項３に記載の光源装置。
【請求項５】
前記制御部は、
前記複数の光源のうちの第１の波長域に対応する第１の光源と、前記第１の波長域とは

異なる第２の波長域に対応する第２の光源と、を同時に点灯させ、前記第１の光源から発せられた第１の光と前記第２の光源から発せられた第２の光とを、
前記第１の波長域に対応する第１のセンサと、前記第２の波長域に対応する第２のセンサと、を少なくとも有する受光部に入射させる、請求項４に記載の光源装置。
【請求項６】
前記制御部は、
前記複数の光源のうちの第１の波長域に対応する第１の光源と、光の発光強度が最大となるピーク波長が前記第１の波長域と異なる第２の波長域に対応する第２の光源と、を異なるタイミングで点灯させ、
前記第１の波長域と前記第２の波長域とを含む波長域に対応するセンサを少なくとも有する受光部に、前記第１の光源から発せられた第１の光と前記第２の光源から発せられた第２の光とを入射させる、請求項４に記載の光源装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明による光源装置の特徴は、
互いに波長域が異なる光を発し、かつ、互いに異なる位置に配置された複数の光源と、
前記複数の光源のうちの一の光源から発せられた光を起源とする第１の入射光と前記一の光源とは異なる他の光源から発せられた光を起源とする第２の入射光とを合成する少なくとも１つのダイクロイックミラーであって、前記第１の入射光と前記第２の入射光とが合成される照明光生成合成点を有し、前記照明光生成合成点で合成された光を、対象物を照明する照明光として出射する照明光ダイクロイックミラーを含む、少なくとも１つのダイクロイックミラーと、
前記複数の光源の点灯又は消灯を少なくとも１つのトリガー信号に基づいて制御する制御部と、を備え、
前記複数の光源の各々から前記照明光生成合成点までの光路の長さが同じである。